

◆八木山地区小地域福祉ネットワーク研修会(令和5年7月27日)

■研修会では町内会ごとに見守り・声がけやサロン活動、近所同士の助け合いを再確認して「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ」を感じられる地域にしていきたいと思いますというCSW(コミュニティ・ソーシャルワーカー)のお話を聞きました。

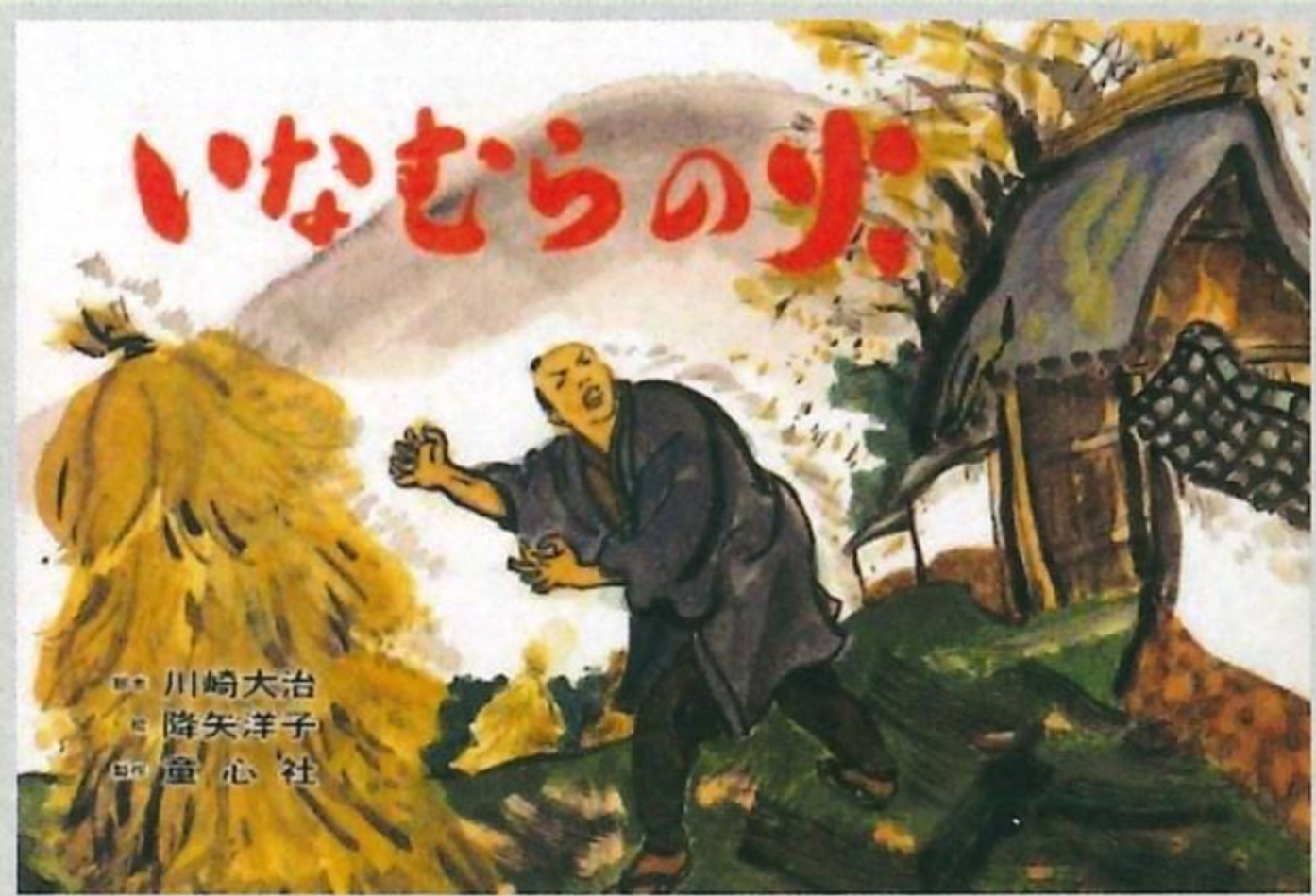
■「住みよい八木山に！」の思いで頑張っている団体は数多いんです！「**このまちで私の一役**」として令和5年2月16日には、そのうち、「ハーブまちづくりとみんなのカフェ」「八木山テラスの取り組み」「無償譲渡会“ただもん市”の取り組み」「八木山の元気を届ける！」の取り組みを紹介いたしました。

次いで、今回の研修会では、読みきかせボランティア「**おはなしやま**」と、地域住民協働による減災・防災の実践的活動をしている「**仙台八木山防災連絡会**」の2団体から取り組みを紹介していただきました。

当たり前ですが、知っている人は知っているのですが、意外と初めて聞いたという方も結構多かったという感想を持ちました。これらを横のつながりと捉え、今後の地域福祉活動参加のきっかけとなれば幸いです。

◆「読みきかせボランティア」 「おはなしやま」について

「おはなしやま」代表 米野喜久子



八木山市民センターで行われているお話し会で、絵本の読み聞かせ、紙芝居の上演、手遊びを通じ、本を読むことの喜びに、想像する楽しさ、人とのふれあいの大切さを伝えることを目的として活動されている「おはなしやま」。

今回の研修会では、防災教材として用いられている逸話の紙芝居「いなむらの火」を上演していただき、「おはなしやま」の活動の紹介と防災の重要性について改めて啓蒙していただきました。1854年の和歌山県など紀伊半島や四国などを襲った大津波の時、庄屋・濱口梧陵が収穫されたばかりの稲わらに火をつけて、暗闇の中で逃げ遅れていた人たちを高台に避難させ命を救った「稲むらの火」の逸話は、津波の恐ろしさ、地震後の早期避難の重要性を伝える優れた防災教材として有名です。

◆地域住民協働による減災・防災の実践的活動 「仙台八木山防災連絡会」について

2008年に「八木山防災連絡会」を設立し、2011年の東日本大震災を機に中学生が『地域防災ボランティア』として参画。『世代を超えた地域づくり』に広がり、2017年には「第22回防災まちづくり大賞」総務大臣賞を、さらには2018年防災功労者内閣総理大臣賞を受賞するに至っています。

また、2021年サントリーみらいチャレンジプログラム助成金を獲得。若者・子育て層の力を引き出した地域防災・地域づくり体制を構築しました。そのほか、ぼうさい井戸端会議・防災キャンドルナイト・ドローン撮影による地盤調査・地域ケアパス発行等の実践活動を行っています。

仙台八木山防災連絡会会長
(東北工業大学特命教授)

菊地良覚 (きくちりょうかく)



◆徘徊訓練を実施しました(令和5年9月15日)



誰もが安心して生活できる地域づくりを目指して、9月15日に認知症徘徊者搜索訓練を実施しました。この訓練は、認知症の方の行方が分からなくなってしまった際に、迅速に搜索できる体制を整えることを目的とし、今年度初めて実施したものです。

当日は包括職員が認知症の当事者を演じ、約1時間八木山の地域を歩きました。事前に募った協力者へ搜索依頼を行い、結果、終了5分前に協力者の方に声をかけて頂き、無事発見されました。大変多くの課題も見つかり、特に、搜索開始から終了までの情報共有方法などが課題として挙げられました。

相談を受けてからいかに効率よく情報共有できるかが重要となってくると感じますので、今後の大きな課題であると感じています。

八木山地域包括支援センター

◆兎に角暑かった！特集

「地球温暖化の時代は終わり、**地球沸騰の時代**が到来した」

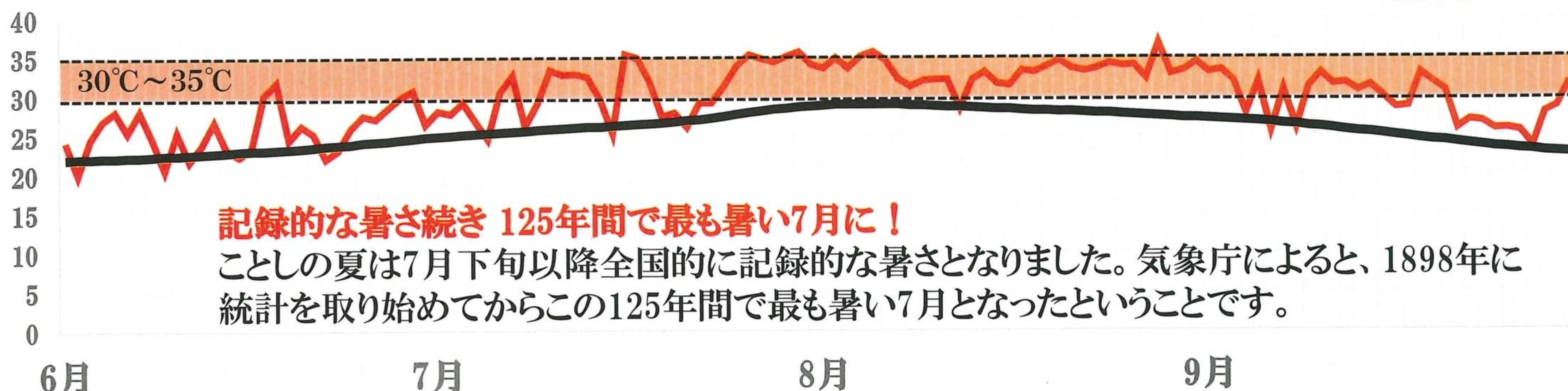
国連 グテーレス事務総長

仙台市の気温

— 2023 — 過去30年の平均

やっぱり暑かった仙台！

6～9月仙台の気温の統計を取ってみました。やっぱり暑かった～～。



加齢により体温調節機能が衰え
ると何が危ないの？



暑い時期に体内の熱を逃がせないと熱中症に、寒い時期に防寒せずに過ごしていると低体温症や感染症の悪化を招きます。

◆高齢になると身体の水分量も減少する上に、暑さを感じにくい方が多いようです。エアコンや扇風機などの使用を促しますが、独居の方などは自身でそういった冷房機器を止めてしまう方も多く、窓なども閉め切って過ごされている方もいました。この連日の猛暑でしたので、包括職員が毎日のように訪問し、体調確認や声掛けをさせて頂いていた方もいました。また、自身では熱中症という自覚がなくても、「なんとなくボーっとする」などの小さな変化があり、受診をしたところ「熱中症」と診断されたという方も数名いらっしゃいました。

◆高齢者の熱中症で最も多い発生場所は「住居の室内」です。熱中症の約4割が室内で起こるといいます。気づかないうちに脱水になっていることもあるので、「大丈夫だろう」という考えは大変危険であると改めて感じた事例です。いずれも軽度であったため良かったのですが、少し判断が遅れば重症になりかねない状況です。こまめな水分・塩分の摂取や、冷房機器の活用、体調の変化を見過ごさないことなど一人ひとりが意識して生活することが大切です。

八木山地域包括支援センター

緊急

◆「食事サービス ふたばの会」ではボランティアを募集しています！

「食事サービス ふたばの会」(若葉町20-7 ☎022-229-2585)は、八木山で30年近く、配食事業をしています。高齢になっても住み慣れた場所で安心して暮らしつつけることができるように「食」の部分での支え合いを実現する活動を行っています。

食事作りが困難になった高齢者に、ボランティアで週5回、月・水・金の昼食時と火・木の夕食時にお弁当を届けています。家庭の味と栄養バランスを大切に配食活動、そして明るい地域づくりのお手伝いをつづけています。

ただ、現状では活動人員が不足しており、このままだと事業の継続が困難になること必至です。そこで、**調理・運転・配食(見守り)などにお力を貸していただけるとボランティアの方を募集**しております(少々ですが活動費支給があります)。

「このまちで私の一役」、是非ご協力をお願いいたします。

HELP!



**ボランティア
募集中**

☎022-229-2585 ふたばの会
まで連絡をお願いいたします

◆八木山みんなのカフェ

八木山みんなのカフェ
ことはじめ

平成30年度に地域の交流拠点(場)としての「サロン」開設のアイデアを煮詰め、令和元年度より、名称を「八木山みんなのカフェ」と称して、開催しております。

繁忙期を除き、月に1回開催を目標に、市民センターを会場としたカフェと、各町内会に出向き行う移動カフェを組み合わせ年間8回程度実施の計画を立て実行しています。



八木山地区社会福祉協議会(社協)、八木山地区民生委員児童委員協議会(民児協)、八木山地域包括支援センター、東北工業大学及び八木山市民センター共催で「八木山みんなのカフェ」が開催されています。

コロナ禍前にも行われていましたが、3年間のブランクを経て今年度から再開することにいたしました。7月を皮切りに、来年3月まで、8回の計画です。

これまでスマホ交流会3回、ボッチャ大会(楽しく健康に！)2回を実施しました。スマホ交流会ではスマホの操作だけでなく、スマホを通して会話が弾んだり、お茶を飲みながら世間話に花が咲いたり、楽しい時間を過ごしました。

ボッチャ大会(楽しく健康に！)ではボッチャのルールを覚え、にわか作りのチームではありませんが、お互いのプレイを褒め合いながら和気あいあいとゲームを楽しむことができました。仙台市からの補助金で、簡易ボッチャの道具を購入したり、コーヒーマーカーで淹れたおいしいコーヒーを味わったりしながら楽しいひと時を過ごしました。



今後、本町二丁目集会所や松が丘集会所に場所を移して「みんなのカフェ」を行う予定です。是非ご参加ください。

回	月日	曜日	時間	会場	テーマ	参加人数
第1回	7月15日	土	10:00～12:00	市民センター (研修室)	スマホ交流会:講師(山口先生) 仙台城南高校ボランティア	地域の方 20名
第2回	8月5日	土	10:00～12:00	市民センター (研修室)	スマホ交流会:講師(山口先生) ハーブもの作り 仙台城南高校ボランティア	地域の方 20名
第3回	9月16日	土	10:00～12:00	市民センター (研修室)	ボッチャ大会(楽しく健康に！)	地域の方 20名
第4回	10月28日	土	10:00～12:00	桜木町 (集会所)	スマホ交流会:講師(山口先生) 東北工業大学・学生	桜木町内会住民 15名
第5回	11月18日	土	10:00～12:00	市民センター (研修室)	ボッチャ大会(楽しく健康に！)	地域の方 20名
第6回	1月13日	土	10:00～12:00	本町二丁目	未定	本町二丁目住民 20名
第7回	2月	土	10:00～12:00	松が丘集会所	未定	未定
第8回	3月9日	土	10:00～12:00	市民センター (研修室)	スマホ交流会:講師(山口先生) 仙台城南高校ボランティア	地域の方 20名



ボッチャ大会の一コマ





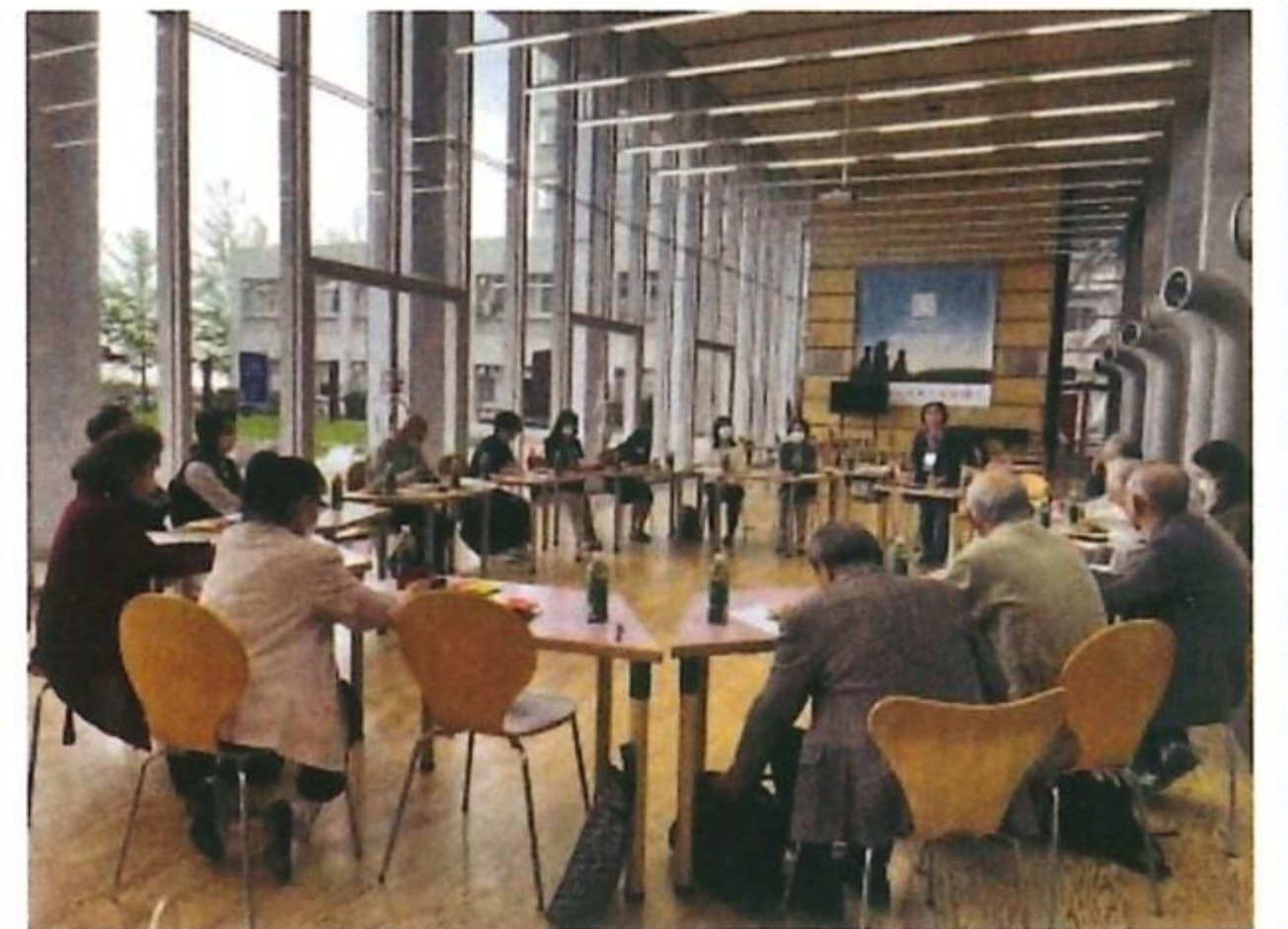
八木山地域おさんぽパトロール・わんわんパトロール 情報交換会(10月21日)

私たちの住むまちが明るく安全な町であって欲しいのはどなたも共通の思いです。お互いがお互いをほんの少し気に掛けることで、無理なく安全なまちを作ることができ、地域コミュニティの活性化を期待して、ウォーキングや犬の散歩をしながらの「ながら見守り」を地域の取り組みとしてスタートし、現在約80名の登録があります。活動開始から一年が経過したところで、活動してみての感想を話し合う機会を設けようと、10月21日(土)に東北工大10号館1階で情報交換会を開いたところ、21名の方が参加してくれました。

参加者からは、リードボーンをつけたワンちゃんに会い、声がけし合い仲良くなり嬉しかった、地域の方との会話が增えるなど、楽しく歩いている様子が伝わってきました。より多くの町内の方が参加することで、安全安心のまちとして生活しやすくなるとのご意見もありました。この一年、活動の中で通報されるような案件はありませんでしたが、地域内では公園での不審者から声をかけられた、空き家侵入、盗難などの事案も複数ありました。

防犯・防災はまず意識することが大切です。子ども達や高齢者、地域の状況に少しでも意識を向け、見る目を増やせば危険箇所の発見にもつながっていきます。あいさつなど日頃のコミュニケーションもひいては地域を守る活動につながります。歩くことは健康にもいいのです。

わんわんパトロール・おさんぽパトロールの仲間になりませんか？



赤い羽根街頭共同募金(10月1日)

八木山市民ふれあい祭りが開催されていた10月1日に動物公園西門出入口と市民センター体育館入口の2か所で赤い羽根街頭共同募金を行いました。2か所で26,023円もの募金が集まりました。ご協力有難うございました。



令和5年度 八木山地区社会福祉協議会会費納入状況

(単位:円)

町内会	普通会費	特別賛助会費	合計
青葉苑	33,600	1,000	34,600
青山	19,200		19,200
青山第一	55,500	1,000	56,500
青山二丁目	51,000	2,000	53,000
青山恵	44,100		44,100
恵和町	84,000	2,000	86,000
桜木町	134,700	1,000	135,700
さつき	11,700	1,000	12,700
松が丘	139,500		139,500
みつば	12,300		12,300
八木山八光台	39,600		39,600
八木山東	67,200		67,200
八木山本町第一	154,200	1,000	155,200
八木山本町二丁目	147,000	3,000	150,000
緑花	51,000	5,000	56,000
八木山団地緑風会	11,700		11,700
若葉苑	23,100		23,100
八木山民児協		23,000	23,000
合計	1,079,400	40,000	1,119,400

ご協力ありがとうございました

～編集後記～

世界では命を脅かす戦争がいまだ続いて、何げない普段の生活の大切さが身に沁みます。

コロナ感染症が5類に移行して、サロンやカフェに集うことへの緊張がだいぶ和らぎ、のびのびと楽しめるようになりました。夏祭り・秋祭りも堰を切ったように催され、子どもたちが走り回って楽しげです。

一方、今年は全国的に熊の出没が相次いでいます。食べ物探しに苦勞しているのでしょう。八木山も青葉山に熊が現れたことがありましたから、まったく安心ということでもありません。

秋の日差しを浴びつつ、今年の雪はどうなのか、冬に備える季節です。



(連絡先) 大野貴子